

生物多様性市民力エル調査結果まとめ



●調査期間 令和7年6月1日(日)から9月30日(火)まで

●報告件数 ・・・ 305件(前回調査R2年266件)
(報告されたカエル373件)

●報告者数 ・・・ 207人(R2年136人・団体)

今回の調査では、前回より参加者が70名ほど増加し、300件を超える報告数がありました。3回目となるエル調査ですが、今回が一番多くの報告をいただきました。ご参加とご協力ありがとうございました!

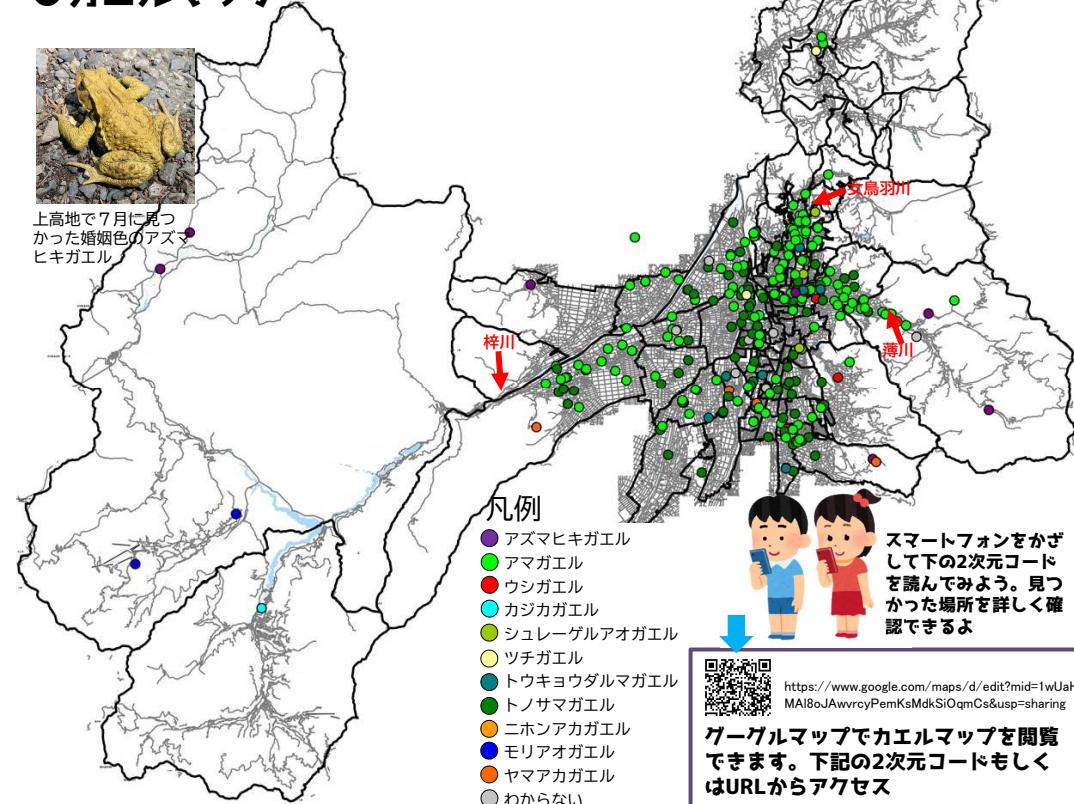
※カエルの種類は、写真から明らかに誤りと判断できるもの以外は、いただいた報告の通りに掲載しています。
※トノサマガエルとトウキョウダルマガエルは交雑種も存在し、外見からの見分けは困難ですので、報告いただいた種名を基にカウントしました。

ニホンアマガエル	シュレーゲルアオガエル	モリアオガエル
209件 (R2: 110件) 水田、庭など	4件 (R2: 2件) 山際の水田など	2件 (R2: 1件)
カジカガエル	トノサマガエル	トウキョウダルマガエル
4件 (R2: 18件) 女鳥羽川など	117件 (R2: 55件) 水田、庭、用水路など	8件 (R2: 12件) 水田など
ツチガエル	ヤマアカガエル	アズマヒキガエル
4件 (R2: 5件) 池、山際の川など	5件 (R2: 6件) 林、山際の水田など	8件 (R2: 7件) 山、林など
ウシガエル3件(R2:2件)、ニホンアカガエル1件(R2:0件)、不明8件		

●カエルマップ



上高地で7月に見つかった婚姻色のアズマヒキガエル



スマートフォンをかざして下の2次元コードを読んでみよう。見つかった場所を詳しく確認できるよ

QRコード
<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1wUjaMA18oJawrcyPemKsMdkSiOqmCs&usp=sharing>
グーグルマップでカエルマップを閲覧できます。下記の2次元コードもしくはURLからアクセス

●調査結果

○市街地からは多くのアマガエルの報告がありました。

- 繁殖地の水田から水路などを伝い移動してきているものと考えられます。

○女鳥羽川周辺では前回に引き続き、カジカガエルの声の報告がありました。

- 今回は写真での報告はありませんでしたが、女鳥羽川ではカジカガエルが繁殖していると考えられます。

○トノサマガエルの報告が前回の55件から117件と大幅に増加しました。

- これまで報告がなかった入山辺や里山辺の山際でも報告されており、生息域を拡大している可能性があります。

○真夏に婚姻色のアズマヒキガエルが報告されました。

- アズマヒキガエルの報告が入山辺、内田、梓川、安曇（上高地）からありました。通常は3月頃に繁殖期を迎えるアズマヒキガエルですが、上高地では7月に婚姻色※のオスが報告されました。冷涼な高地では繁殖期が平地と大きく異なると考えられます。

※普段は茶色に近い色をしていますが、繁殖期には写真のような黄土色になります。

お問い合わせ

松本市役所 環境エネルギー部 環境・地域エネルギー課

環境政策担当 (東庁舎4階)

〒390-8620 松本市丸の内3-7 ☎34-3268

e-mail : s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp



多くの方がカエルに関する感想や思い出を送ってくださいました。



・田んぼが家の近くにあるので、毎年この時期は、夜になるとカエルの大合唱が聞こえ始めます。またこの時期がやってきたなあと今年も夏の始まりを感じます。

・越してきてからずっと、なぜ、こんな街中の池がある訳でも無いところで、こんなにたくさんの個体が、産卵から越冬まで可能なのか、毎年不思議に感じ、鳴き声に聞き入っています。ほんとに田んぼに居るようなくらいです。

・焼き物でできた親子カエルの置物を玄関に置いているのですが、それが動いたかと思うようなカエルが隣に鎮座していたときは、皆で眺めて喜びました。

・15年くらい前、息子が小さかった頃は近くの田んぼに行き、おたまじゃくしを何匹かとってきて、ケースの中で飼ってカエルになるところを観察したのが思い出です。

・娘とカエルを探しながら毎日歩いていて、今朝やっと発見しました！今年初のカエルに2人で大喜びし、記念に報告させてもらいました。

・カエルが大好きです。小さくて可愛いカエル、大きくてかっこいいカエルすべて好きです。

・庭に池があった頃は大きなカエルが住み着いていたり小さなカエルの姿もよく見ましたが、池は10年も前に無くてしまい、今日何年ぶりかで庭で小さなカエルを見つけて嬉しくなりました。亡き父がカエルなど庭の生き物が好きだったので、この取り組み（カエル調査）を知ったらやりたかったらうなと思い、父の代わりに送信させていただきました。暑く乾燥したこの夏、小さなこのカエルはどこで生まれてこの庭を通ってどこに行くのかと要らぬ心配をしています。無事に大きくなりますように笑。

カエルが小さいといった感想を多くいただきました。

・カエルが小型化しているような気がします。

・今年見つけたアマガエルはどれもとても小さくてオタマジャクシだった時のほうがぶくぶくとして大きいような気がします

・私が子供の頃は3cm~4cmほどの大きさのカエルを見ることがほとんどでしたが、最近我が家に現れるカエルは皆半分ほどの大きさしかありません。何年も見かけるのは小さなカエルばかりで環境ホルモンや農薬の影響なのかな…と心配しています。涼しく感じるのか、庭の匍匐性タイムの中に隠れるのが好きなようで梅雨の時期には数匹見かけました。

・トノサマガエルは普通ですがアマガエルは今年はとにかく小さい気がします。

・水やりの時、毎年見かけます。今年もやっと姿を見せてくれました。でも、小さい気がします。

・毎年家の庭に大きめのトノサマガエルが3匹くらいいますが、今年もその他に小さいトノサマガエルがいます。アマガエルもいますが今年は非常に小さいです。

カエルに関する疑問を送ってくださった方もいました

・今回見つけたアマガエルがいたのは3メートル以上ある桑の木の上の方です。こんなに小さいのにどうやって地上から登ってきたのかが驚きです。

・庭の木の上の方にいました。木に登っているカエルを見るのは初めてです。

・松本大学では、校舎と校舎をつなぐ2階の露天の渡り廊下でアマガエルをよくみかけます。なぜ2階に上がってくるのでしょうか。

→ アマガエルやシュレーゲルアオガエルは田んぼの周辺で見かけるイメージがありますが、実は繁殖期以外は木の上で生活しています。吸盤が発達しており、高いところへ上るのが得意です。



葉っぱにくっつく
シュレーゲルアオガエル



樹上のアマガエル

見られるカエルが変わってたという報告もありました。

・最近アマガエルが少なくなった気がします。田んぼにはおたまじゃくしはあるのですが、まえはいなかたトノサマガエルを見るようになりました。ここ2年くらいだと思います。



トノサマガエル



アズマヒキガエル

カエルに関する気づきを送ってくださった方もいました。

・いつときは数が減って鳴き声も聞く機会が少なくなったり気になっていましたがここ1~2年は少し増えてきた感があります。我が家の中にもアマガエルとトノサマガエルとヒキガエルのような大きな個体がいてみな越冬しているのか暖かくなってくると姿を現して鳴いています。

・四柱神社前の女鳥羽川で最近の夜カジカガエルが鳴いている。

・7月頃に、たくさんのトノサマガエルの子どもたちが、田んぼから離れた山の方に移動てきて、側溝の中に溜まっているのを、毎年見かけます。

・毎年自宅隣の用水路で孵化して、庭へ上がってきます。梅雨の時期は子供のカエルが沢山いて、その中で数匹ほどが畑の土の中で冬眠して、春に出てきます。

・以前自宅近くで、トルコ石のようなアマガエルを見つけたことがあります、アマガエルの変身はほんとすごいと思います。



アマガエルの擬態

側溝の中のたくさんのトノサマガエル

報告者のみなさんから約250件の写真報告がありました。いただいた写真の一部を紹介します。
ご報告ありがとうございました！



今回の調査ではグーグルマップで調査結果を閲覧できます。信州大学理学部の東城研究室にも協力いただき、写真から種類を判別して判別できたカエルの種類を全て掲載しています。松本市の様々なところで多くの種類のカエルが見つかっていることが分かると思います。また5年後の調査で今回の結果と比較します。